

# エルム父母の会通信

2011年度 11月号 2011.11.26  
エルムアカデミー父母の会発行

おやこもちつきにご参加・ご協力ください

毎年、年末の恒例行事「おやこもちつき」が今年も以下の日程で開催されます。

日時：12月11日(日) 11:00～14:00

準備は10時から、片付けは15時まで。その後、打ち上げ・忘年会があります。

会場：エルムアカデミー荏原教室前の遊歩道にて

当日は30kgのおもちをつきます。つき手のお父さん大募集です。また、ちぎり手のお母さんも募集です。エプロンと三角巾持参でご参加ください。

中学部・高校部 スポーツ大会

日時：12月24日(土) 19:00～21:00

会場：品川区立荏原第五中学校 体育館

種目：ソフトバレーボール

集合：エルム 18時30分の予定です

※必ず体育館履きを持って来るようにさせていただきます。父母の方の参観はできません。

きりとり

参加確認票 (エルムまで提出お願いいたします)

クラス ( )	父母お名前 ( )
12/11 (日) おやこもちつき	大人 ( ) 名
1/21 (土) 新年公開授業	大人 ( ) 名
懇親会	大人 ( ) 名

エルムアカデミー父母の会新年講演会 & 自由の森学園市民講座コラボ企画3

## おとなも子どもも学ぶ公開授業

沖縄戦「集団自決」を考える一チビチリガマで何が起こったのか

授業者 菅間正道さん (自由の森学園・社会科教員)

1967年生まれ。1992年より同学園に勤務。

教育科学研究会、近現代授業研究会などに参加。



〈会場〉

荏原第四区民集会所 2F (東急大井町線荏原町駅前)

〈日時〉

2012年1月21日(土) 15:00～17:30

〈参加費〉 無料

講演会後に懇親会がございます。

懇親会は18時～20時

費用は1000円程度となります。

主催：エルムアカデミー父母の会 <http://elm-ac.jp/>

自由の森学園市民講座親の会 <http://www.jiyunomori.ac.jp/>

後援：自由の森学園、エルムアカデミー、教育サポートセンター NIRE

連絡先：エルムアカデミー 03-3784-5676

2011年度エルムアカデミー父母の会費納入のおねがい

納入がまだの方はお支払いください。1世帯1,500円です。

## 小学6年生 自転車企画に参加して 小林 教春

「やったー！お疲れさん」……もう暗くなりかけた午後5時20分の奥多摩駅。朝5時30分に品川のエルムを出発して約12時間の長い自転車の旅は終わりました。疲れた表情の中にもやりきった満足感がどの子にもあふれていたように感じました。わが子にも……

「奥多摩まで自転車で一緒に行くの？」—1年前から我が家での心配事と言うか、娘とのやり取りでいつも聞いていました。「うん行くよ」—何とも軽い返事しか返ってこない会話の中に感じる不安。この軽い返事と親の心の重さが反比例する。「この子は本当に行くつもりなのだろうか？」運動神経もないし、体力もない娘が奥多摩まで行けるのだろうか？そんな不安を抱き自転車企画の日が近づいてきました。

夏のキャンプ前日の予定が、雨で順延。次の予定日も天候が悪く、また順延。「もうこのままやらないですんだらいいな」と不謹慎な思いも芽生えてきました。しかし、10月10日は好天。秋らしいさわやかな日でした。このさわやかな天気と私たちの気持ちも反比例していました。

「途中でリタイヤするかもしれないんだ」と親は開き直りながら、娘はまったく緊張するそぶりすら見せずに気楽に家を出発。

朝5時30分、エルムに集合。眠そうな顔、ちょっと緊張しているのかと思わせるみんなの表情。教室で一人ひとり決意を語ります。みんなの緊張感が仲間の言葉によって走り切るぞという決意に変わっていくその瞬間。しかし娘からはそういった気持ちは全く感じられません。「こんな軽い気持ちでいいのかぁ」と心の中で叫びながら、それを聞く私たち。

そうした心配をよそに、出発。しかし、わが娘は出発から遅い。ぱっと自転車に乗って、ぱっと出発するところなのに、もたついている。最初のスタートなのに。「早くしなさい！」つい口も出ます。

まあとにかく出発。私たち(小林父&母のことです)は、車に乗って追っかけスタート。エルムを出て、最初の難所が中原街道の上り坂。普通ならなんでもない坂道ですが、娘にとっては難所なんです。箱根駅伝の往路5区の箱根の「山登り」のような。私たちは車なので、先に行き途中でみんなを待ちます。坂口さん先頭に子どもたちがどんどん通り過ぎます。出発したばかりで余裕ある表情です。しかし、娘は来ない。まさかこんな早く「リタイヤ？」……不吉な予感が走ります。しかし、来ました。伴走の根本さんに、励まされながら(この励ましは最後まで効きました)。ゆっくりゆっくり。でも真剣な表情。余裕がないとも見えますが。「よしこのまま行け！行け！」……私たちも応援します。

中原街道を抜け、川崎側の多摩川サイクリングコースへ。私たちが待っていると、やって来ました。みんな



良い表情です。ここで朝飯。出発。娘は何とかみんなについている。

次の休憩地点は、立川公園。陽も上りさわやかな青空が広がっています。立川公園で菅野君とお別れ。あれほど自転車企画を待ち焦がれていたのに残念。

次は福生南公園が休憩地点。みんなとそれほど遅れずにわが娘も到着。ホッとします(親バカ丸出しですいません)。

昼食地点の羽村市スポーツセンター。私たちは車で先に乗り付け、昼食の買い出しをして待ちます。みんな無事に到着。昼食も元気に食べました。

そしてここから青梅へ。徐々に「山の中」って感じの道になってきました。それは坂道が連続するきつい道のりの開始でもありました。うちの娘の自転車での最大の課題が坂道。立ちこぎができない。ということは全体重をかけて自転車をこげないということです。足だけの力で一生懸命ペダルをふみ、坂道の重力に逆らって必死です。わたしは声で応援するしかありません。「がんばれ、ガンバレ!」、「あともうちょっと!」、「止まらなければ、つくからね?」……月並みな言葉をかけるしかありません。止まることもあったけれど、歯を食いしばってペダルを踏みます。頑張れ、頑張れ……あと10キロ、あと5キロ、どんどん奥多摩駅が近づいてきます。みんなが休憩地点で励ましてくれたことも力になりました。伴走する根本さんの励ましも大きかったです。(車に乗って口だけの親の存在はどうだったでしょうか?)

そしてついに奥多摩駅に到着!

これまでの人生で一番頑張った、頑張れた娘。「ほんとうにがんばったね!」。

